

事務事業評価シート

事業種別	継続	単独	事業類型	I	ソフト事業	1次評価のみ対象分
事業名	128	俳句啓発推進経費	区分	コード	名称	
基本施策	35	文化・芸術により、豊かな感性と創造性を育む	会計	01	一般会計	
施策	4	松尾芭蕉を核とした地域づくりの推進	款	02	総務費	
			項	01	総務管理費	
			目	08	芭蕉顕彰費	
			細目	103	俳句啓発推進経費	
			細々目	01	俳句啓発推進経費	
基本計画該当頁	138	担当部課	コード	40200	評価者氏名	森本 勝美
行革大綱の重点事項番号		名称	企画振興部 文化国際課		連絡先	22 - 9624 (内線) 2120

事業の計画・内容

事業目的	対象等(何が、誰が)	芭蕉翁、俳句に興味を持っている市民	成果(どうなるのか)	市民が芭蕉翁について関心を深め、また市民の間に俳句をより一層浸透させることにつながる。
	(※対象件数)			
開始年度	平成	年度	関連事業	
終了年度	平成	年度	根拠法令・要綱等	
事業内容	俳句の日記念事業(小中学生を対象に俳句教室を開催)、芭蕉月間事業(「歌枕俳枕講座」講演会、吟行・句会を開催)、芭蕉ゆかり俳句事業(芭蕉翁ならびに俳句に親しむため句会を開催)、全国俳句募集事業伊賀市賞、芭蕉俳句懸垂幕掲示			状況変化等 「(財)芭蕉翁顕彰会」と「いがまち芭蕉翁顕彰会」が統合され、新たな(財)芭蕉翁顕彰会に組織が一新されたことにより、芭蕉翁生誕地として、芭蕉翁顕彰事業を全市域的により一層取り組むことになった。

整備内容

1 建設用地	千円
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	

事業実績

活動指標	単位	実績値		目標値	
		H18	H19	H20	H21
俳句教室開催回数	回	目標 1	目標 1	1	1
		実績 1	実績 1		
歌枕俳枕講座開催回数	回	目標 1	目標 1	1	1
		実績 1	実績 1		
芭蕉ゆかり俳句事業開催回数	回	目標 0	目標 1	1	1
		実績 0	実績 1		
全国俳句募集事業伊賀市賞	個	目標 2	目標 2	2	2
		実績 2	実績 2		
芭蕉俳句懸垂幕掲示	回	目標 4	目標 4	4	4
		実績 4	実績 4		

運営体制

1 運営主体	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等
委託先	( ) 人
2 配置(予定)人員	千円
3 年間運営費	
4 市内の類似施設	

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
			H18	H19	H20	H21
夏休み俳句教室参加者数	俳句を学ぶ場を設けることで、市内小中学生の俳句活動が一層盛んになる。	人	目標 50 実績 41	目標 70	70	70
歌枕俳枕講座参加者数	芭蕉や俳句に関する講演会に参加し、より知識を得ることにつながる。	人	目標 80 実績 80	80	80	80

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	俳句に親しめる機会を提供することで、市民に俳句を広め芭蕉翁に関心を持ってもらえる。
有効性	3	俳句教室や講演会に参加できる機会を提供することで、世代を問わず芭蕉翁や俳句に親しんでもらえる。
達成度	4	計画どおり開催できた。
効率性	4	事業を継続するためには、予算を削減する余地はない。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
A	現状維持	参加者、来場者が増えるように、参加者募集、開催案内等の広報を行う。講師によって報償費に格差があるため、予算額と決算額に差額が生じるが、来場者増加に繋げるために知名度の高い講師を依頼する必要もあることから、当初予算の経費削減は難しい。

進捗状況	年度	平成18年度 決算内容				平成19年度 決算内容				平成20年度 計画内容				平成21年度 計画内容				
		事業内容	数量	単位	金額(千円)	事業内容	数量	単位	金額(千円)	事業内容	数量	単位	金額(千円)	事業内容	数量	単位	金額(千円)	
進捗状況	委託	報償費			187	報償費			361	報償費			466	報償費			466	
	工事	旅費			4	旅費			30	旅費			90	旅費			90	
		会場借上料等			74	会場借上料等			74	会場借上料等			162	会場借上料等			162	
	進捗率(%)	その他			251	その他			252	その他			294	その他			294	
		俳句懸垂幕追加												4			808	
		事業費計(A)		Σ	516	事業費計(A)		Σ	717	事業費計(A)		Σ	1,012	事業費計(A)		Σ	1,820	
		事業投入人員	人件費(B)	0.3	人	2,160	人件費(B)	0.3	人	2,160	人件費(B)	0.3	人	2,160	人件費(B)	0.3	人	2,160
		フルコスト(A)+(B)			2,676				2,877				3,172				3,980	

事業費(人件費除く)の財源内訳

(A)	事業費	516	717	1,012	1,820
Aの財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	受益者負担				
	その他				
	一般財源	516	717	1,012	1,820
	計	516	717	1,012	1,820
備考	特定財源の名称・補助基本額・率 地方債の区分と充当率等				芭蕉翁俳句懸垂幕を実施していない4支所を追加する。